

法人名 特定非営利活動法人 オハナプロジェクト

事業計画書

事業名	産前産後の親子の健全育成事業
種類	(1) SDGs推進事業 (人間)
1. 事業の目的	<p>アフターコロナ、withコロナ時代を見据え、コロナ禍で地域社会と断絶状況に陥りやすい産前産後世帯を対象とし、地域の中で人と人とが繋がりをあえる「居場所づくり」を通して、個々が自身に必要と感じている地域社会との繋がりを自由に選択し、産前産後の親子が心身共に健康的な生活を営める地域共生社会の実現を目指します。</p> <p>①法人のこれまでの活動 児童虐待死は0歳児が半数以上であるという統計結果から産後ケア事業が必要不可欠であると考え、産前産後世帯が安心安全だと感じられる地域の居場所作りを目指し、活動を始めました。 そして、コロナ禍で多くの世帯が収入減少となる中で、「食」を中心とした居場所づくりを目指し、2021年8月より新座市内でこども食堂を立ち上げました。現在、行っている活動は以下の通りです。</p> <p>【こども食堂アロハにいざ】 月1回、最終日曜のお昼に開催。約100食程度（年間12回、1,200食）のお弁当提供スタイル。あそび企画、離乳食、液体ミルク対応あり。 活動拠点は新座市立中央公民館です。</p> <p>【オハナ子育て応援フードパントリー&こども宅食】 2021年8月頃から活動開始しており、現在20世帯が定期利用しています。ひとり親世帯や海外にルーツのある世帯、多子世帯が中心です。 毎月第3木曜日～第4土曜日の午前9時～午後17時半まで、利用者の都合の良い時間帯の来店受取と、来店が困難な世帯へは配送対応をしています。 活動拠点は当法人の所在地（新座市道場2-9-7）です。</p> <p>【親子のひろばクブ】 主に0～3歳までの小さな子どもとその保護者を対象として、「赤ちゃん食堂」の位置づけで2021年4月より活動開始しました。現在、毎週火曜日の開催に向けて運営体制強化を図っており、3～5組程度の少人数開催としています。 2022年5月からはお弁当提供ではなく、「みんなで食べよう」スタイルで活動することとしました。 活動拠点は新座市道場2-3-15（有限会社ボデーショップ佐野の従業員社宅の共有部分を利用しています）。</p>

②活動の中で明らかとなった課題

近年「こどもの居場所」の重要性、必要性が世の中に認知され始めておりますが、こども食堂については「こどもが1人で歩いていける」等小学生以上のこども達が主な対象と見受けられます。本来、「こども」には赤ちゃんや未就学児も当然含まれますが、昨今の少子化の影響も相まってか、未就学児の居場所づくりに焦点が当たることが少ないです。

未就学児は保護者等の助けを得なければ居場所へたどり着くことが出来ませんが、未就学児を連れた保護者等にとって、こども食堂などの地域の居場所へ足を運ぶこと自体がハードルの高いことだということを改めて実感しました。更に、保護者が当該居場所がこどもにとって安心安全である、と感じられる環境も重要であり、コロナ禍ではそのような居場所が少ないことも分かりました。

小さなこどもを連れて外出する先がないことで、母子父子が家庭内で孤立状態となりやすく、悩み事を解決するためにインターネットに頼る傾向があり、膨大な情報を処理しきれず、悩みが解消されにくい状況です。

小さなこども達と一緒に足を運びやすい設備や人的対応など、地域の中に親子が安心安全と感じられる、人と人が繋がれる居場所が必要です。

③課題に取り組むことの必要性、重要性

新座市は小学生に向けた居場所事業（ココフレ）が展開されておりましたが多くのこども達が利用していますが、市内の子育て世帯の約6割が幼稚園入園するにも関わらず、未就学児向けの居場所は少ないのが現状です。

また、現代は世代間ギャップが大きく、家庭内で保護者達の親世代（祖父母世代）に古い育児の常識を押し付けられ、親族以外の人間関係を求めている保護者も少なくありません。

妊娠期から産後など、こども達が保護者に生活のすべてを依存している時期にこそ、個々が必要と感じる繋がりを自由に選択できることが、親子が地域社会の中で心身共に健康的な生活を営んでいくために重要であると考えています。

また、新座市で展開されている地域子育て支援事業は全てが保育園内や児童館内で運営されており、慢性的な人手不足です。

本来、地域子育て支援事業に従事できる者は保育士等に限らず、指定された講習（子育て支援員研修）の受講のみが求められており、東京都等では保育園内や児童館内に限らず多様な地域子育て支援事業が展開されておりますが、東京都に隣接する新座市ではそのような運営の前例がありません。

子育て支援に関わりたいと希望する地域住民が広く子育て支援に関わっていける環境形成を行い、地域の中に多様な居場所が創出されていくことが必要です。

2. 事業の内容

(1) 産前産後の親子の健全育成

「親子のひろばクプ」事業により、産前産後の親子の健全育成に取り組みます。

①趣旨

妊娠期から産後など、小さなこどもを持つ「親子」の「食とあそび」を中心とした居場所づくりを行います。

・月2～3回程度、「ひろば」の開放（予約不要）

小さなこども達向けのオモチャや絵本を用意した室内あそびと、「みんなで食べよう」スタイルのこども食堂（ボランティアによる調理）を通じた地域交流。参加費は親子1組300円/1回。

・月1回、「プレーパーク」の開催（予約不要）

色水あそびや巨大シャボン玉など、小さなこどもにとって安心な野外遊びを通じた地域交流。参加費無料。

②実施時期

・ひろば

毎月2～3回程度、火曜日の午前10時から午後13時まで。

・プレーパーク

毎月最終火曜日の午前10時から正午まで。

③対象者

主に0～3歳までの未就学児と保護者（対象児童の兄姉も対象とする）

④場所

・ひろば

有限会社ボデーショップ佐野従業員社宅共有部分（新座市道場2-3-15）

・プレーパーク

新座セントラルキッズパーク（新座市道場1-13-54）

※準公園内行為承認済（承認番号第9号）

⑤参加見込み人数

1回あたりの参加は以下の通りを見込んでいます。

・ひろば 1回あたり3～4組、月12組、事業年度計 96組

・プレーパーク 1回あたり10組程度、事業年度計 80組

ひろば、プレーパーク合計、事業年度計 180組程度の参加を見込んでいます。

⑥外部の協力者、団体など

・新座市による名義後援を取得予定（2020年度、2021年度に名義後援取得）

・有限会社ボデーショップ佐野

・一般社団法人埼玉県子ども食堂ネットワーク（加入手続き中）

<p>3. 実施計画</p>	<p>(1) 産前産後の親子の健全育成</p> <p>○スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="448 230 1305 792"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>ひろば 7/12、7/19 プレーパーク 7/26</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>ひろば 2回、プレーパーク 1回 ※調整中</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中 助産師による育児相談、親子性教育を予定</td> </tr> </tbody> </table> <p>○広報計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人公式LINE（登録者数162世帯）へのLINE配信 ・チラシ配布（近隣保育園、幼稚園） ・チラシ掲載（近隣公民館）※新座市こども支援課に相談中 ・法人公式SNS（Instagram、Facebookページ）からの情報発信 	時期		7月	ひろば 7/12、7/19 プレーパーク 7/26	8月	ひろば 2回、プレーパーク 1回 ※調整中	9月	ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中	10月	ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中	11月	ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中	12月	ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中	1月	ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中	2月	ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中 助産師による育児相談、親子性教育を予定
時期																			
7月	ひろば 7/12、7/19 プレーパーク 7/26																		
8月	ひろば 2回、プレーパーク 1回 ※調整中																		
9月	ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中																		
10月	ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中																		
11月	ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中																		
12月	ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中																		
1月	ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中																		
2月	ひろば 2～3回、プレーパーク 1回 ※調整中 助産師による育児相談、親子性教育を予定																		
<p>4. 実施体制</p>	<p>①統括責任者 佐野浩子</p> <p>②連絡責任者 佐野浩子</p> <p>③現場責任者 佐野浩子 現場は佐野（代表理事）、茂木（理事）、佐藤（介護福祉士）、大迫（保育士）、長沼（看護師）の4名のうち2名以上が対応します。</p> <p>④経理担当者 佐野浩子</p> <p>⑤広報担当者 平川、佐藤</p>																		
<p>5. 事業の効果</p>	<p>直接的な効果として受益者180世帯、約360名を見込んでいます。</p> <p>また、これまでの全ての活動はコロナ感染予防対策の観点から事前予約制、室内での人数制限を講じながらの開催でしたが、当事業は予約不要、かつ野外での活動も行うため、活動そのものが地域住民の目に触れる機会が増えます。活動そのものに広告宣伝効果があり、活動の周知や支援者の募集の役割を果たすと考えています。</p> <p>活動の周知が進むにあたり、より広く、より多くの妊娠期、産後の世帯へリーチし、当事業を窓口として他の事業に繋がるなど、個々に必要としている繋がりへの利用促進効果があると考えています。</p> <p>また、当事業を通して子育てが落ち着いた世帯が、今後はボランティア参加し、支えられる側から支える側へ移行していく体制も構築できると考えています。運営の担い手が増えることによる、地域社会の中で様々な「居場所」の立ち上げを見込んでいます。</p> <p>当事業を中心に、民間団体が産前産後の親子の健全育成に関わり、各々の得意分野を活かした多様な居場所による地域共生社会の実現により、こどもを産みやすい、育てやすい地域環境の形成効果があると考えています。</p>																		